ウッドパーティション

取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。

■施工上のご注意

●商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。

■使用上のご注意

●製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。

●フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

●フェンスに雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。

■梱包明細書

①主柱セット(ベース仕様)

名称	員数		
	T−8	T−10	T−12
T−8主柱(L=836)	1	−	−
T−10主柱(L=1036)	−	1	−
T−12主柱(L=1236)	−	−	1
取付説明書	1	1	1

②主柱セット(ベース仕様)

名称	員数	
	T−14	T−18
T−14主柱(L=1436)	1	−
T−18主柱(L=1836)	−	1
取付説明書	1	1

※「ベース柱用補助柱」と組み合わせてご使用ください。

③柱セット(埋込仕様)

名称	員数				
	T−8	T−10	T−12	T−14	T−18
T−8主柱(L=1240)	1	−	−	−	−
T−10主柱(L=1440)	−	1	−	−	−
T−12主柱(L=1640)	−	−	1	−	−
T−14主柱(L=1840)	−	−	−	1	−
T−18主柱(L=2240)	−	−	−	−	1
取付説明書	1	1	1	1	1

④コーナー柱セット(埋込仕様)

名称	員数				
	T−8	T−10	T−12	T−14	T−18
T−8コーナー柱(L=1255)	1	−	−	−	−
T−10コーナー柱(L=1455)	−	1	−	−	−
T−12コーナー柱(L=1655)	−	−	1	−	−
T−14コーナー柱(L=1855)	−	−	−	1	−
T−18コーナー柱(L=2255)	−	−	−	−	1
T−8コーナー柱化粧材(L=805)	1	−	−	−	−
T−10コーナー柱化粧材(L=1005)	−	1	−	−	−
T−12コーナー柱化粧材(L=1205)	−	−	1	−	−
T−14コーナー柱化粧材(L=1405)	−	−	−	1	−
T−18コーナー柱化粧材(L=1805)	−	−	−	−	1
柱化粧材取付ネジ φ4×35サラピアス	2	2	2	2	3
取付説明書	1	1	1	1	1

⑤ロング主柱セット(埋込仕様)

名称	員数	
	T−14	T−18
T−14ロング主柱(L=2340)	1	−
T−18ロング主柱(L=2740)	−	1
取付説明書	1	1

⑥ロングコーナー柱セット(埋込仕様)

名称	員数	
	T−14	T−18
T−14ロングコーナー柱(L=2355)	1	−
T−18ロングコーナー柱(L=2755)	−	1
T−14ロングコーナー柱化粧材(L=1905)	1	−

⑥ロングコーナー柱セット(埋込仕様)(つづき)

名称	員数	
	T−14	T−18
T−18ロングコーナー柱化粧材(L=2305)	−	1
柱化粧材取付ネジ φ4×35サラピアス	3	3
取付説明書	1	1

⑦パネルセット

名称	員数
パネル本体	1

⑧パネル上下桟セット

名称	員数
上桟	1
下桟	1
上桟組付部品	2
下桟組付部品	2
部品組付ネジ φ4×30ナベピアス	3(1)
部品組付ネジ φ4×20ナベ特殊	8
上桟組付ネジ φ4×32サラ特殊	4
下桟組付ネジ φ5×30サラ3種	2

⑨パネル中桟セット

名称	員数
中桟	1
中桟組付部品	2
部品組付ネジ φ4×20ナベ特殊	4
上桟組付ネジ φ4×32サラ特殊	4

⑩主柱キャップAセット

名称	員数
主柱キャップ(樹脂製)	1
キャップ組付ネジ φ4×30サラ1種	2

⑪主柱キャップBセット

名称	員数
主柱キャプ(木製)	1
キャップ組付ネジ φ4×50サラ1種	2

⑫柱固定金具セット1

名称	員数
柱固定金具1	1
柱固定ネジ φ5.1×32丸木ネジ	9(1)
金具固定ネジ φ8×40六角1種	6

⑬上下桟組付金具セット

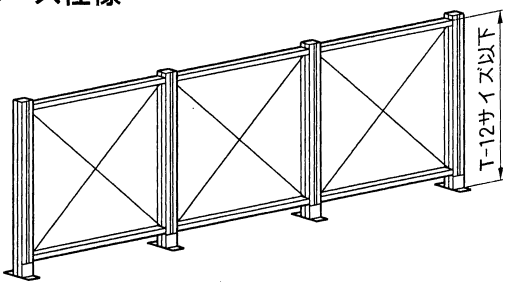
名称	員数
上桟組付部品	2
下桟組付部品	2
部品組付ネジ φ4×30ナベピアス	3(1)
部品組付ネジ φ4×20ナベ特殊	8
上桟組付ネジ φ4×32サラ特殊	4
下桟組付ネジ φ5×30サラ3種	2

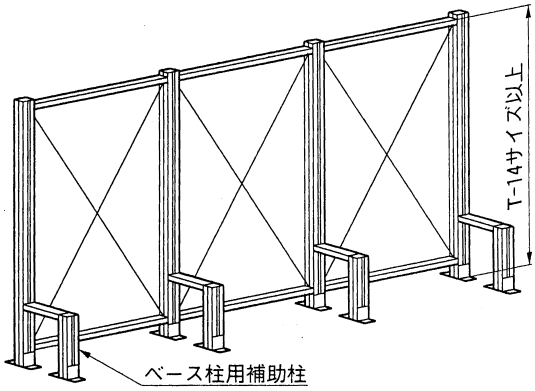
※(　)員数は予備数です。

※「ベース柱用補助柱」は別紙取付説明書(取説コードC207)をご参照ください。

1.施工時の重要注意項目（施工前にご確認ください）

1-1 ベース仕様



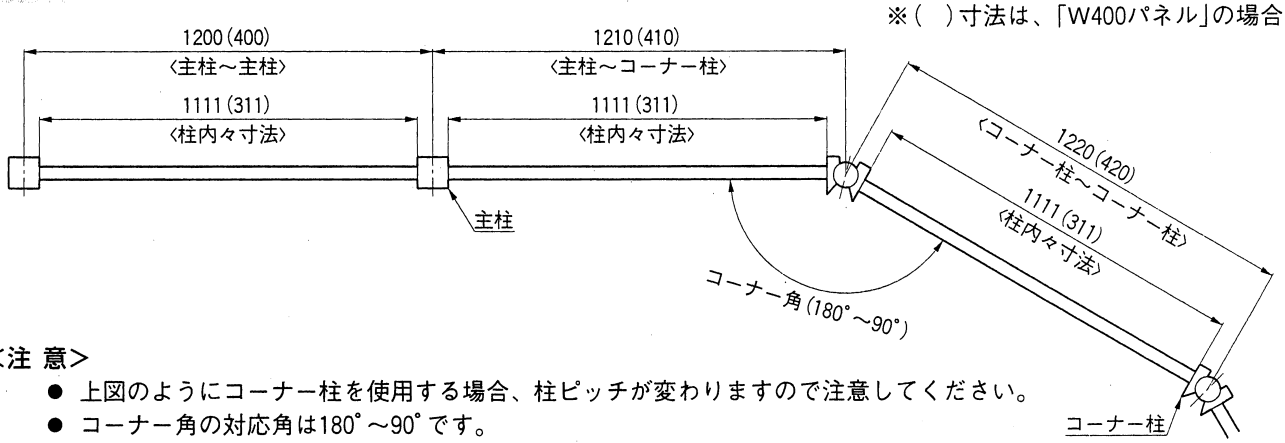


<注 意>

- 図のようにT－14以上のフェンスには「ベース柱用補助柱」を必ずご使用ください。
- 「ベース柱用補助柱」は別紙取付説明書をご覧ください。

1-2 埋込仕様

※（　）寸法は、「W400パネル」の場合

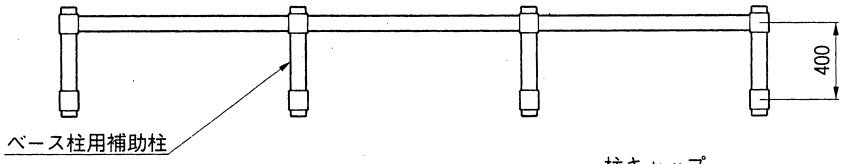


<注 意>

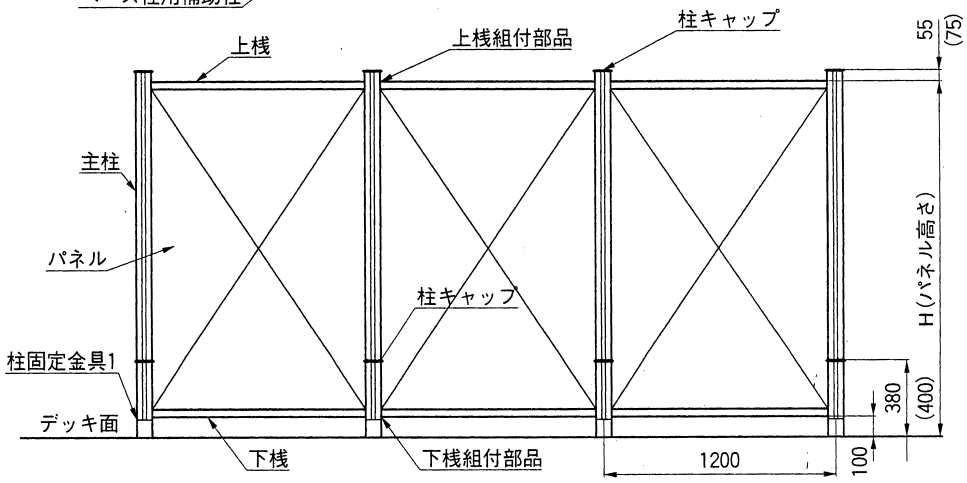
- 上図のようにコーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°～90°です。

2.基本寸法図および各部名称

2-1 ベース仕様



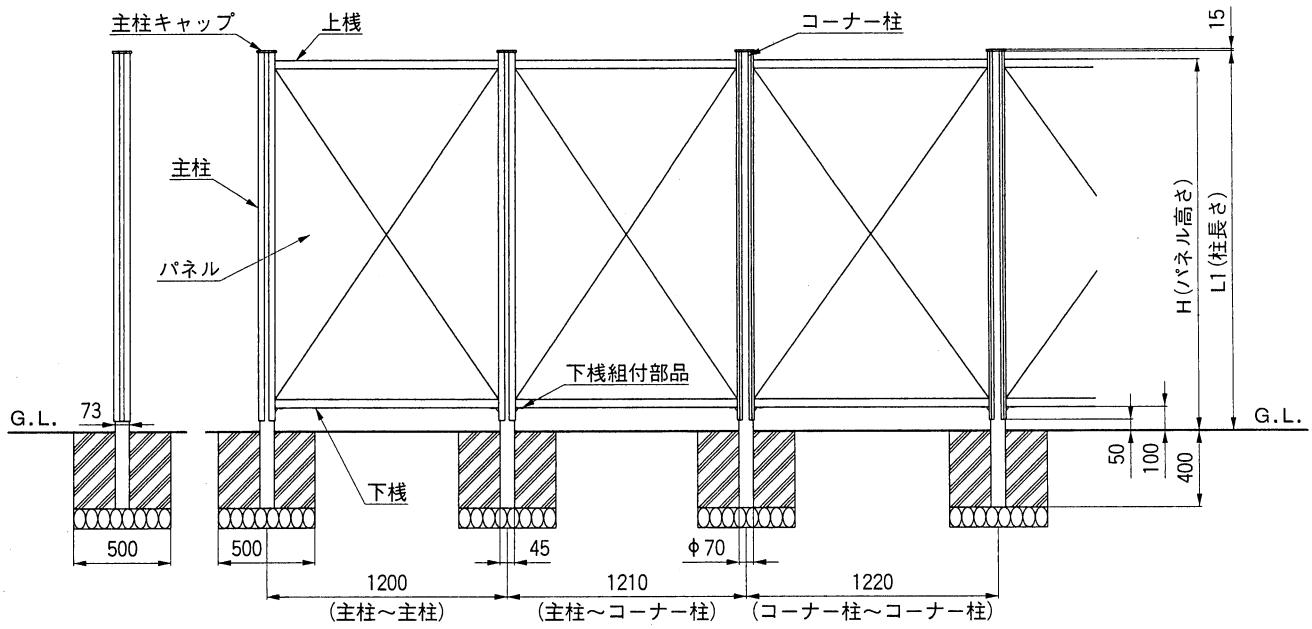
※（　）寸法は、「柱キャップB（木製）」使用時の寸法です。



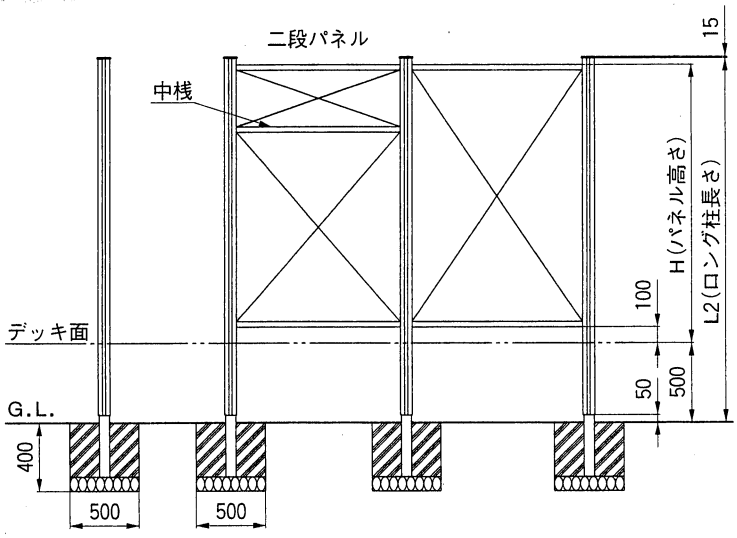
パネルサイズ	H寸法
T－6パネル	600
T－8パネル	800
T－10パネル	1000
T－12パネル	1200
T－14パネル	1400
T－18パネル	1800

2.つづき

2-2 埋込仕様



2-3 ロング柱仕様

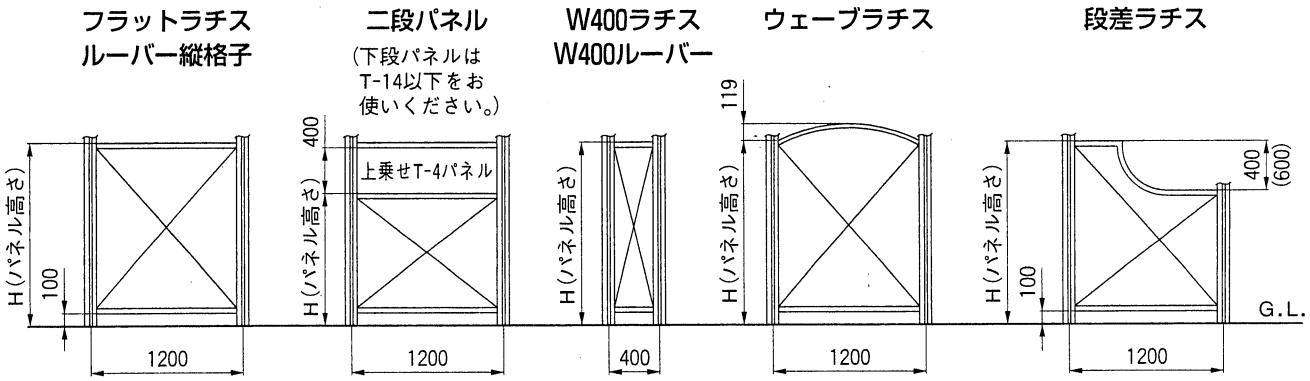


パネルサイズ	H寸法	L1寸法	L2寸法
T−6パネル	600	—	—
T−8パネル	800	840	—
T−10パネル	1000	1040	—
T−12パネル	1200	1240	—
T−14パネル	1400	1440	1940
T−18パネル	1800	1840	2340

<注 意>

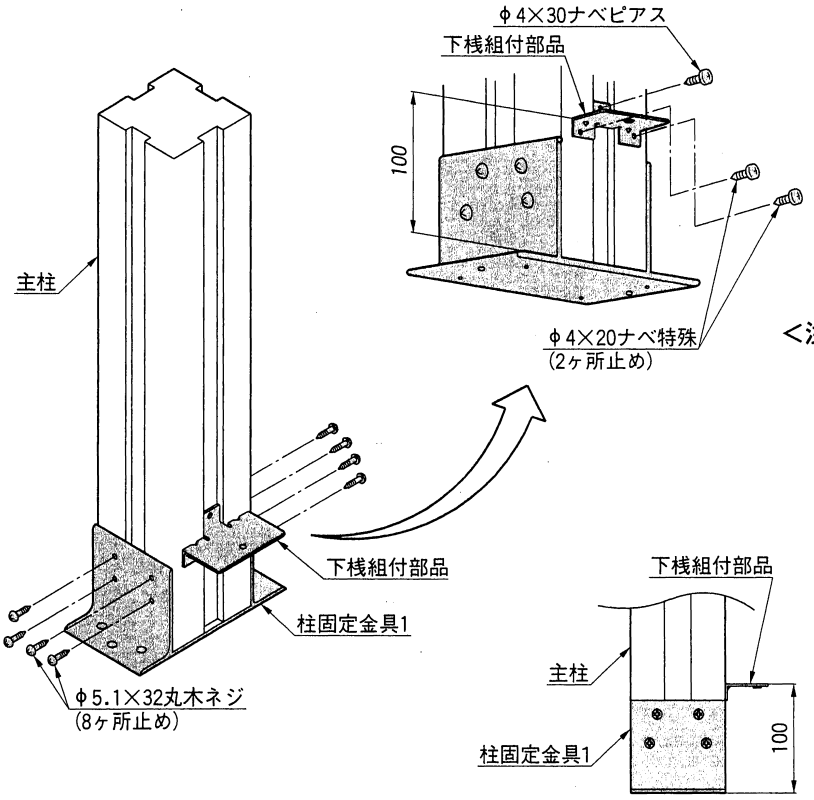
- 埋込柱はサイズにより設定のないものがあります。
- G.L.からデッキ面までの最大寸法は500㎜です。

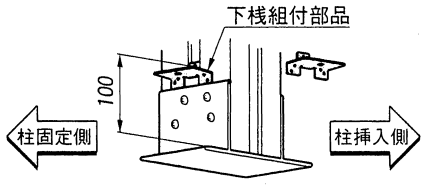
2-4 パネル寸法



3.主柱(ベース仕様)の組付け

3-1 下桟組付部品の組付け

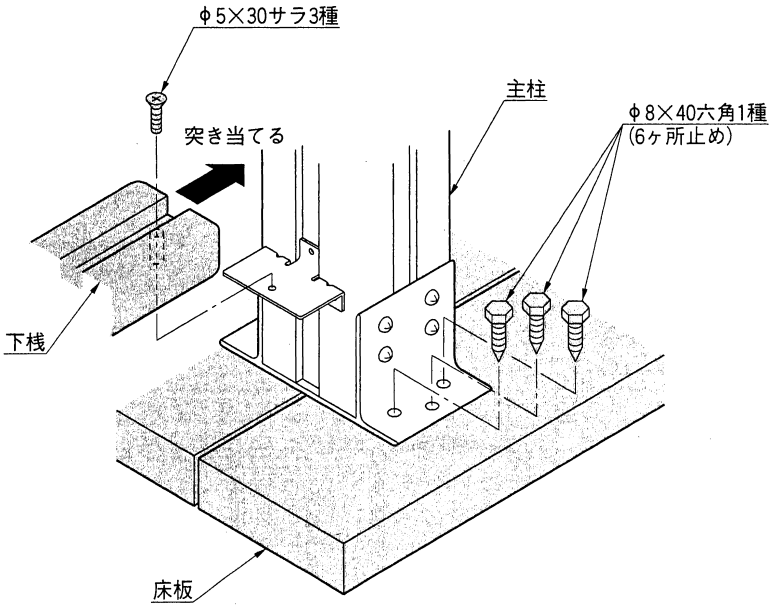




❶ 主柱に「柱固定金具１」を組付けます。
❷ パネルの挿入方向を確認し、「下桟組付部品」を組付けます。

<注 意>
- 下図のように柱固定側に「下桟組付部品」を合わせると位置がでます。

3-2 下桟の組付け



❶ 下桟を主柱に突き当てるように組付けます。

<注 意>
- ネジを締め込みすぎて下桟を突き抜かないように注意してください。

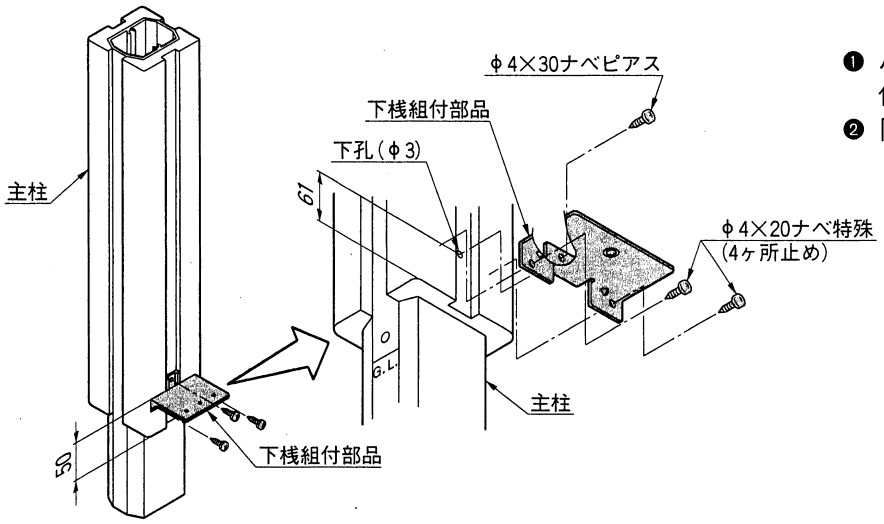
❷ 下桟を組付けた後に、主柱を床板に固定します。

<注 意>
- 床板にあらかじめ下孔をあけておきますと、ネジを打ったときに床板が割れにくくなります。

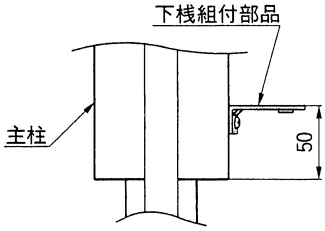
※「ベース柱用補助柱」の組付けは別紙取付説明書をご覧ください。

4.主柱(埋込仕様)・コーナー柱の組付け

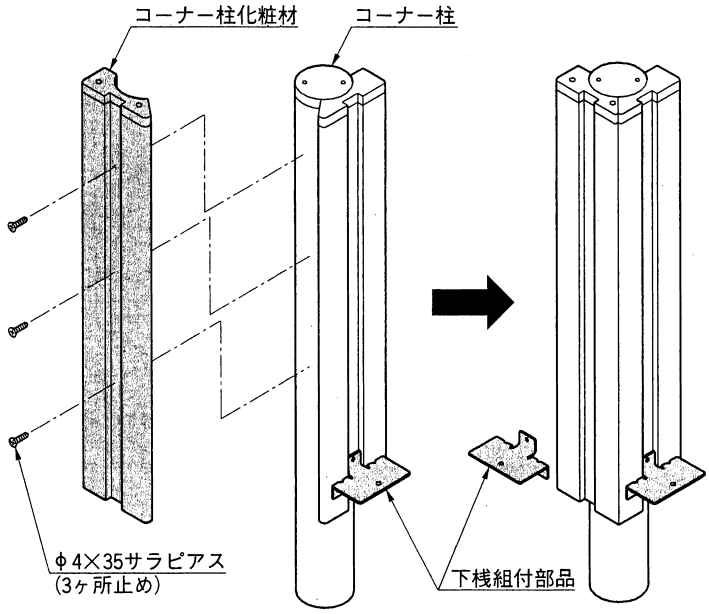
4-1 主柱(埋込仕様)の場合



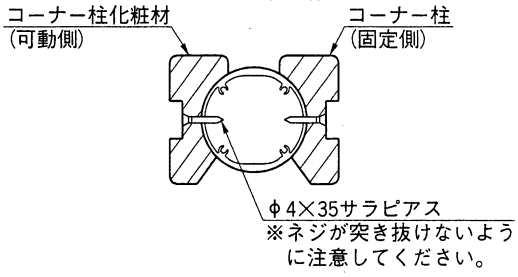
❶ パネルの挿入方向を確認し、記載寸法の位置に下孔をあけます。
❷「下桟組付部品」を組付けます。



4-2 コーナー柱(埋込仕様)の場合



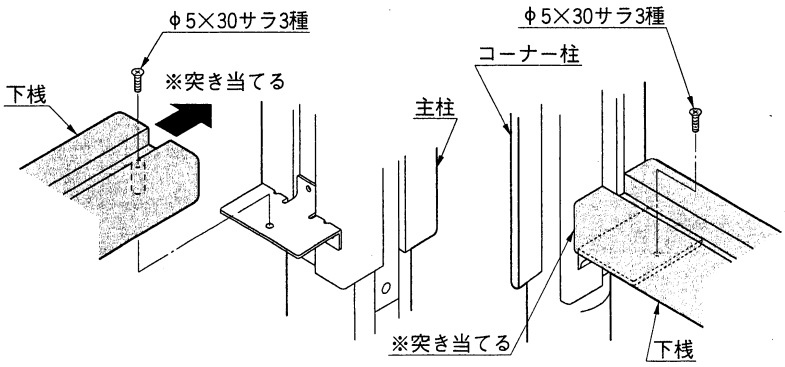
コーナー柱断面



❶ コーナー柱化粧材をコーナー角に合わせて組付けた後、「下桟組付部品」を組付けます。
(「4-1 主柱(埋込仕様)の場合」参照)

<注 意>
- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。
(「1.施工時の重要注意項目」参照)
- ネジを締め込みすぎて化粧材を突き抜かないように注意してください。

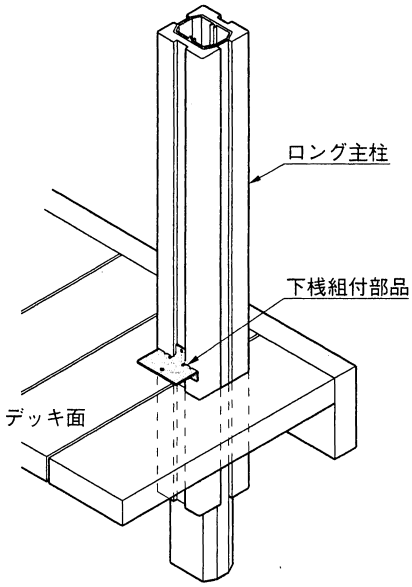
5.埋込み柱の下桟の組付け

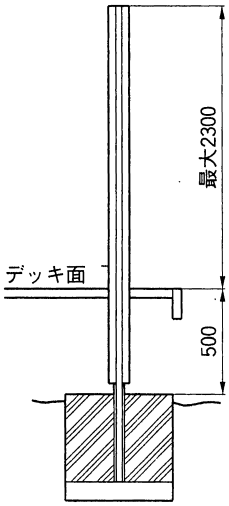


❶ 下桟を主柱・コーナー柱に突き当てるように組付けます。

<注 意>
- ネジを締め込みすぎて下桟を突き抜かないように注意してください。

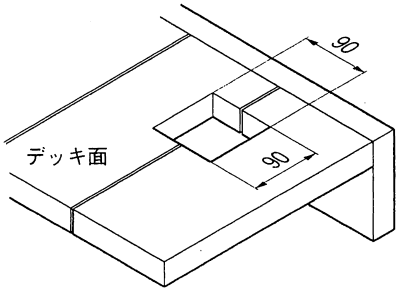
6.ロング柱の組付けと下桟の組付け



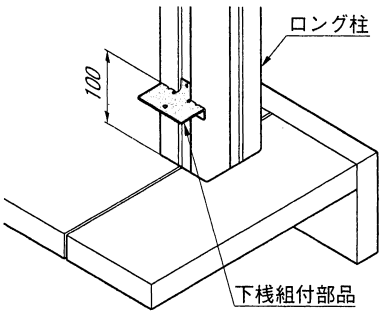


❶ 主柱の位置を決めて、デッキ面に柱孔加工を施してください。（A図参照）
❸ 柱を入れ、デッキ面から100mmの位置に「下桟組付部品」がくる位置で柱を仮固定します。（B図参照）
❹ 下桟を柱に突き当てるようにして組付けます。（C図参照）

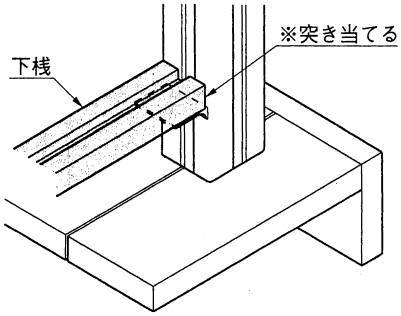
<注 意>
- 施工にあたっては基本図の寸法に従ってください。



A図

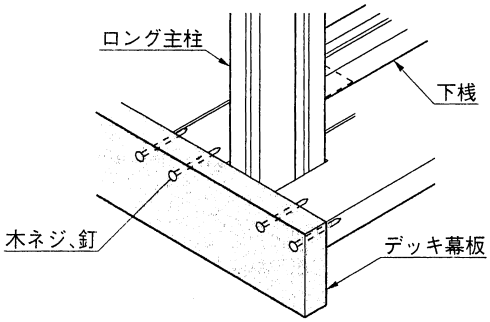


B図



C図

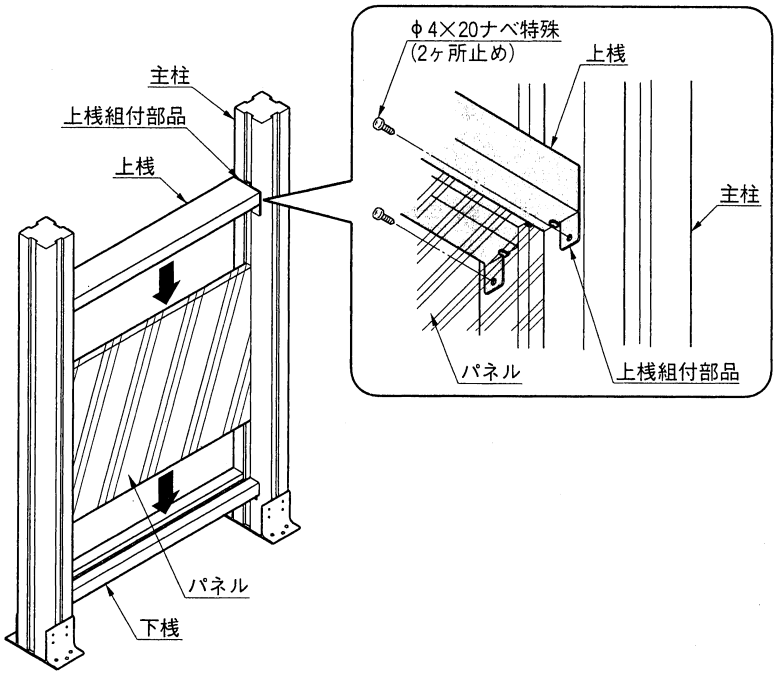
●柱をデッキの端に施工する場合



<注 意>
- 幕板ではさむようにし、木ネジや釘を多めに打つなど幕板を補強してください。

7.パネルと上桟・中桟の組付け

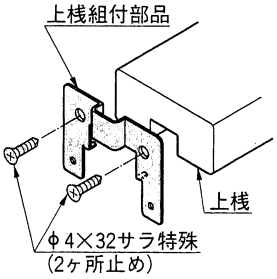
7-1 一段パネルの組付け

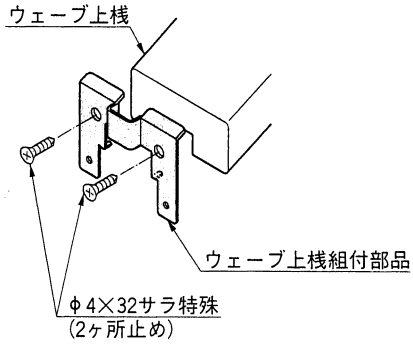


❶ 上桟に組付部品を組付けます。

<注 意>

- 組付部品は上桟断面の中心に組付けてください。

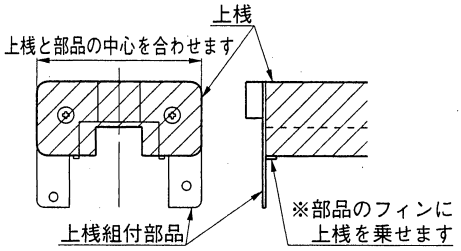


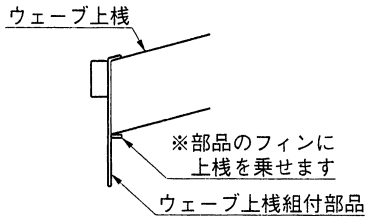


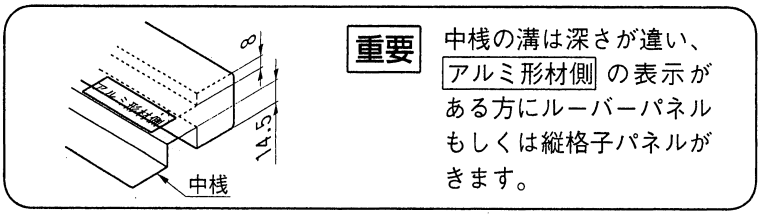
❷ 主柱と下桟の溝にパネルをはめ込みます。
❸ 上桟の溝をパネルに合わせて上桟を組付けます。

<注 意>

- 上桟の平行および高さを確認して組付けてください。
  (「2.基本寸法図および各部名称」参照)



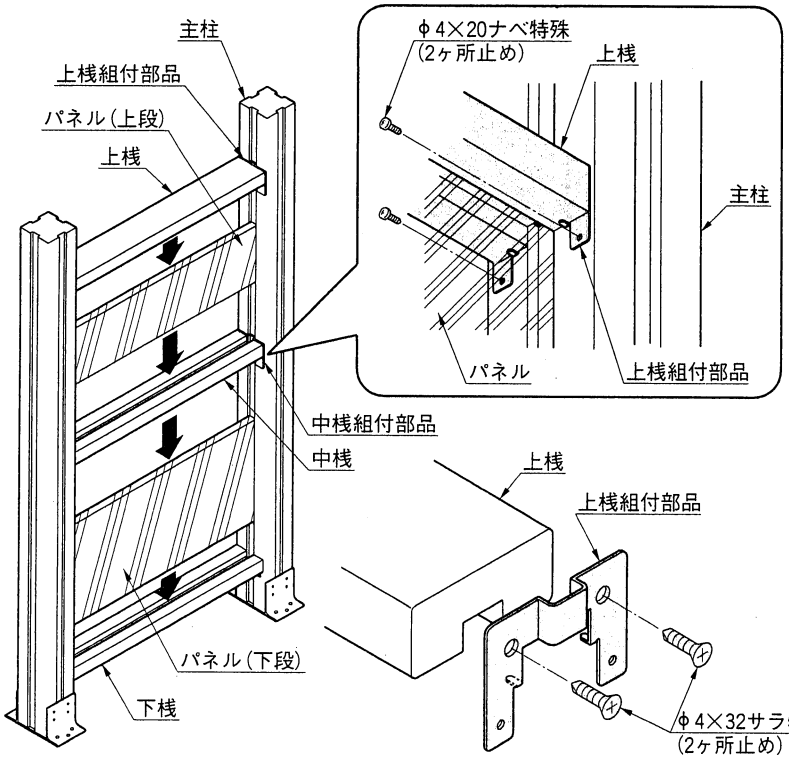




重要 中桟の溝は深さが違い、アルミ形材側の表示がある方にルーバーパネルもしくは縦格子パネルがきます。

7.つづき

7-2 二段パネルの組付け

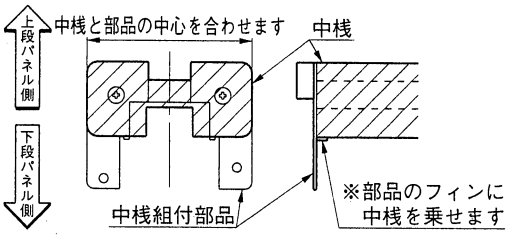


❶ 中桟に組付部品を組付けます。

<注 意>
- 組付部品は中桟断面の中心に組付けてください。
- 上段・下段パネルの向きに金具を組付けてください。

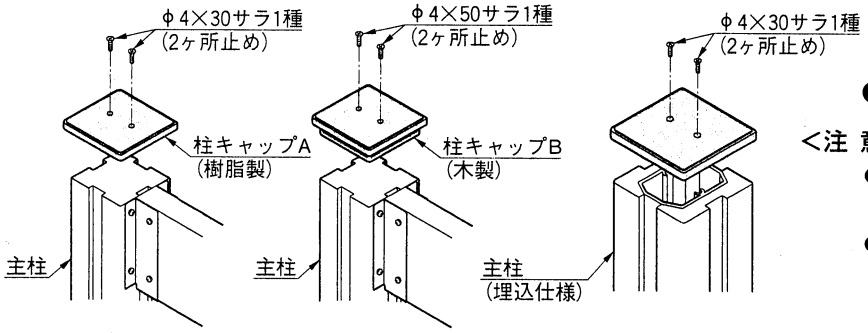
❷ 主柱と下桟の溝にパネルをはめ込みます。
❸ 中桟の溝をパネルに合わせて中桟を組付けます。
❹ パネル(上段)と上桟を組付けます。

<注 意>
- 上桟・中桟の平行および高さを確認して組付けてください。
(「2.基本寸法図および各部名称」参照)



8.柱キャップの組付け

※柱ギボシを組付ける場合は「柱ギボシ」の施工手順に従ってください。
(別紙取付説明書参照)



❶ 柱キャップを主柱に組付けます。

<注 意>
- 埋込仕様の柱にはタッピングホールの方向にネジを合わせてください。
- キャップの向きにご注意ください。

工事店様へ

- 埋込み柱の基礎は規定の寸法を必ず守ってください。
- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に完全に拭き取ってください。
- 木は生きものですから自然環境下において、使用にさしつかえない範囲での反り、曲り、ヒビ等が発生する場合があります。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し願います。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 木は生きています。
ニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。
- 木材保護塗装品は、1年をめどに塗り替えをしてください。
お手入れの状況(回数・丁寧さ等)で耐用年数に差が出てきます。
- フェンスをゆすったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- フェンスに雨具、洗濯物、布団等を乗せないでください。

取説コード
C218
LDA819393C
98-02A
201108E_1001